

議題 テーマ提言について

項目 まとめ

前回までの基準諮問会議における提案

1. 前回までの基準諮問会議での提案に関する検討状況は以下のとおりである。

提案時期	会計基準レベル/ 実務対応レベル	内容	検討状況
第 24 回 (H27/7/13)	実務対応レベル	無対価株式交換の会計処理	実務対応専門委員会に評価依頼中。
第 24 回 (H27/7/13)	実務対応レベル	親会社による子会社の吸収合併	同上。
第 25 回 (H27/11/12)	実務対応レベル	会計制度委員会報告第 14 号「金融商品会計に関する実務指針」における当座貸越契約及び貸出コミットメントに関する規定の改正	同上。

第 26 回基準諮問会議（今回）における提案

2. 今回、以下の項目についてテーマ提案が行われたため、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。

会計基準レベル/ 実務対応レベル	項目	対応	資料番号
会計基準レベル	リース取引に関する会計基準（企業会計基準第 13 号）等の見直し検討	企業会計基準委員会は、今後、当委員会の中期運営方針を公表することを予定しており、当該運営方針に今後の日本基準の開発に関する基本方針も記載する予定とされている。本提案については、当該中期運営方針の検討に含めて頂いてはどうか。	資料(1)-2
実務対応レベル	「経営者が会計方針を適用する過程で行った判	実務対応レベルの提案であるが、仮に本テーマを開発することになる場合、開示に関する会計基準を開発する	

	断」及び「見積りの不確実性の発生要因」に関する注記情報の充実	ことになると考えられ、会計基準レベルの提案であると考えられる。 事務局で、提案の内容を検討の上、次回の基準諮問会議において、検討を行うこととしてはどうか。	
実務対応レベル	子会社、関連会社株式の減損とのれんの減損の関係	実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼してはどうか。	

※上記記載の「会計基準レベル/実務対応レベル」の区分は、提案者の区分によるものである。

(参考)

過去に審議を行ったが提言に至らなかったテーマ

5. 以下については、前回までの基準諮問会議で提案され、テーマ提言に至らなかったテーマである。

(会計基準レベル)

- 比較情報（第 16 回基準諮問会議提案）
- 金融商品の消滅の認識（第 16 回基準諮問会議提案）
- 完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理（第 18 回基準諮問会議提案）
- 金融商品会計における上場関係会社株式の減損の取り扱いについて（第 21 回基準諮問会議提案）
- 継続企業的前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発について（第 17 回基準諮問会議提案）

(実務対応レベル)

- 種類株式の会計処理（第 16 回基準諮問会議提案）
- 現物分配の会計処理（第 16 回基準諮問会議提案）
- 契約に含まれるリース取引（第 16 回基準諮問会議提案）
- ポイント引当金（第 17 回基準諮問会議提案）
- リストラクチャリングに関連する引当金、早期割増退職金の会計処理（第 16 回、第 17 回基準諮問会議提案）
- 指定国際会計基準を任意適用している会社において、親会社の子会社を吸収合併する際に子会社から受け入れる資産及び負債の適正な帳簿価額の考え方（第 20 回基準諮問会議提案）
- 総合型厚生年金基金の特例解散における会計処理（第 21 回基準諮問会議提案）
- 厚生年金基金の代行部分に関する前納の会計処理（第 21 回基準諮問会議提案）

以 上